

**【オンライン開催】継承される物語－日本の絵画と浮世絵に見る怪異譚**

『宇治拾遺物語』や『今昔物語』など日本の説話集に登場する人物たちは、写本により時空間を超えて語り継がれ、また詞書とともに絵巻物や草紙、絵本にもなり、人々の記憶として浸透していきました。江戸時代になり、それらが版本や浮世絵版画で取り上げられたことで、大々的に世に広まり、今を生きる私たちにも継承されています。本講座では、絵巻物や絵本、版本や浮世絵版画を通して、物語となった歴史上の人物、特に怨霊や幽霊と化した人物、あるいはヒーローとして称えられるようになった人物の生き様を見ていきます。

**【受講料】** 1,300円**【受講料以外の費用】** なし**【時間・場所・定員】**

- 13:00～14:30
- Zoom ウェビナーによる開催
- 定員90名

**【その他】**

- 講座の録音、録画、画面キャプチャー（撮影・保存）を禁止しております。
- 通信料等は受講者負担となります。

**【講師】** 教授 木下 京子**【開講日と内容】（全4回）**

- ① 10月 4日（水）  
日本の三大怨霊－菅原道真・平将門・崇徳天皇
- ② 10月 11日（水）  
女性の怨霊－哀しくも美しい女性たち
- ③ 10月 18日（水）  
鬼滅の勇者たち－源頼光と四天王
- ④ 10月 25日（水）  
幽霊画の成立とその展開